

**製品名: CD158a ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08223**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KIR2DL1
別名	KIR2DL1; CD158A; NKAT1; Killer cell immunoglobulin-like receptor 2DL1; CD158 antigen-like family member A; MHC class I NK cell receptor; Natural killer-associated transcript 1; NKAT-1; p58 natural killer cell receptor clones CL-42/47.11; p58 NK receptor CL-42/47.11; p58.1 MHC class-I-specific NK receptor; CD158a
遺伝子 ID	3802.0
SwissProt ID	P43626
免疫原	抗血清はヒト KIR2DL1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

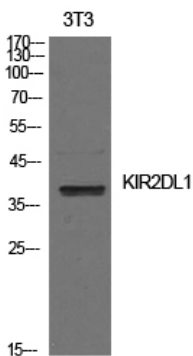
## 背景

キラー細胞免疫グロブリン様受容体 (KIR) は、ナチュラルキラー細胞および T 細胞のサブセットによって発現する膜貫通型糖タンパク質です。KIR 遺伝子は多型性を有し、高い相同性を有し、1Mb の白血球受容体複合体 (LRC) 内の染色体 19q13.4 上のクラスターとして存在します。KIR 遺伝子クラスターの遺伝子内容はハプロタイプによって異なりますが、いくつかの「フレームワーク」遺伝子 (KIR3DL3、KIR3DP1、KIR3DL4、KIR3DL2) はすべてのハプロタイプに存在します。KIR タンパク質は、細胞外免疫グロブリンドメインの数 (2D または 3D) と、細胞質ドメインが長い (L) か短い (S) かによって分類されます。長い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は、免疫チロシン阻害モチーフ (ITIM) を介してリガンド結合時に阻害シグナルを伝達する一方、短い細胞質ドメインを持つ KIR タンパク質は機能を持たない: HLA-C アレルに対するナチュラルキラー (NK) 細胞上の受容体。NK 細胞の活性を阻害し、細胞溶解を防ぐ。、その他:PubMed:15580659, は、KIR2DL5A のプロモーターと第 1 エクソンを、当初は偽遺伝子と考えられていた KIR3DP1 に融合させた組み換え遺伝子を生成する染色体再編成を同定した。これにより、スペイン系コーカソイド集団の 4.5 % で、キメラタンパク質 KIR2DL5A/KIR3DP1 をコードする可能性のある mRNA が発現します。、類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。、類似性:2 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、類似性:3 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、組織特異性:末梢血細胞で発現します。、

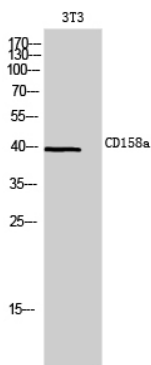
## 研究分野

抗原処理と提示、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、移植片対宿主病、

## 画像データ



CD158a ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



CD158a ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。

